

神戸市北区でのチョウの観察 50 年 平尾 栄治

昆虫同好会の結成と六甲山

今から50年前、私たち小学生の虫好きの仲間を指導してくださったのが、故尾崎 勇さんです。6~7人のグループで「明石昆虫同好会」が結成されました。同好会は私が高校3年生になるまで続いたように記憶しています。

夏休みにはテントを持ってキャンプをしながら蝶の採集をしました。私が参加したキャンプとしては、鳥取県大山、奈良県大台ヶ原、石川県白山、兵庫県段ヶ峰が思い出されます。普段は「裏六甲」と尾崎さんの出身地の「佐用郡」がフィールドでした。

1960年代の六甲山系のチョウ

六甲山系には年間7、8回出かけたでしょうか。春、淡河から五社・道場への馬力道を歩いて「ツマキチョウ」、「ミヤマセセリ」、「ギンイチモンジセセリ」を、初夏には鳥原水源地から当時の兵庫区山田町下谷上で「ホシミスジ」、「ウラゴマダラシジミ」、「ウラキンシジミ」を、梅雨明けには藍那や山の街近辺の尾根筋に「オオムラサキ」や「スミナガシ」を求めた。

夏休みに入ると六甲山頂付近で「ウラギンスジヒョウモン」、「ミドリヒョウモン」、「クロシジミ」を、また丹生・帝釈山系に「ミヤマカラスアゲハ」、「オナガアゲハ」を求めて踏み込んだ。

秋口になると、大池や唐櫃の山中で「アサギマダラ」の群れに遭遇したことを思い出します。また「ウラギンシジミ」や「ウラナミシジミ」の他に越冬する「キタテハ」、「ルリタテハ」、「アカタテハ」などのタテハチョウの仲間の秋型が爽やかな陽射しの中を飛翔していた。

国蝶オオムラサキの危機

1960年代は神戸電鉄沿線の宅地開発が始まり、山の街の高層市営住宅の建設でクヌギやコナラの林が伐採されようとしており、山の街周辺の「オオムラサキ」、「スミナガシ」は絶滅の危機に瀕していました。山の街に続いて藍那

から木津の産地も神戸複合産業団地の完成に合わせるように絶滅しました。六甲山系の「オオムラサキ」は近年急激に減少しています。十数年継続している北区長坂山での越冬幼虫調査では、「ゴマダラチョウ」ばかりで「オオムラサキ」が一頭も見つからない年が増えてきました。最近では森林植物園から摩耶山へのドライブウエー沿いで大発生したことが話題になりましたが、確実に減少の一途をたっています。

温暖化と南方系のチョウの定着

近年の温暖化傾向の中で、チョウの発生時期の前進化や新たな種の定着など、大きな変化が見られます。最も顕著なものとして「ウラゴマダラシジミ」の発生時期があります。1960年代の採集記録は6月14日~20日がほとんどであったものが、近年では5月下旬から6月10日位に発生時期が早まっています。

新たな種の定着では、北区全域で「イシガケチョウ」、「ナガサキアゲハ」、「クロコノマチョウ」、「ムラサキツバメ」を挙げることが出来ます。わが家の庭でも「ナガサキアゲハ」、「ムラサキツバメ」の発生が確認できました。「イシガケチョウ」、「クロコノマチョウ」は丹生・帝釈山系で確実に発生を繰り返し、このうち「クロコノマチョウ」は10月下旬から11月にかけての夕方、わが家を含めて住宅地に飛来することが多くなりました。

わが家のバタフライガーデン

小・中学生時代に通いつめた六甲山系の一角に居を構えて24年。庭にチョウの食草、食樹を植えて観察を続けてきました。これまでの観察の結果を次のとおり報告します。

庭に飛来した蝶類の記録 (1984年~2007年)

<2007年9月23日現在>55種

(_____下線部は庭で発生を確認した種類;25種)

アゲハチョウ科

クロアゲハ、カラスアゲハ、モンキアゲハ、ナガサキアゲハ、アゲハ、キアゲハ、アオスジアゲハ、ジャコウアゲハ、オナガアゲハ 小計9種

シロチョウ科

モンシロチョウ、モンキチョウ、キチョウ、スジグロシロチョウ、ツマキチョウ 小計5種

タテハチョウ科

ヒオドシチョウ、ルリタテハ、キタテハ、ヒメアカタテハ、アカタテハ、ツマグロヒョウモン、ウラギンスジヒョウモン、ミドリヒョウモン、イチモンジチョウ、ホシミスジ、コムスジ、ミスジチョウ 小計12種

マダラチョウ科

アサギマダラ 小計1種

テングチョウ科

テングチョウ 小計1種

ジャノメチョウ科

ヒカゲチョウ、クロヒカゲ、サトキマダラヒカゲ、ジャノメチョウ、ヒメジャノメ、コジャノメ、ヒメウラナミジャノメ、クロコノマチョウ 小計8種

シジミチョウ科

トラフシジミ、コツバメ、ヤマトシジミ、ツバメシジミ、ベニシジミ、ルリシジミ、ウラキンシジミ、ウラギンシジミ、ミズイロオナガシジミ、アカシジミ、ムラサキシジミ、ウラナシジミ、ムラサキツバメ 小計13種

セセリチョウ科

アオバセセリ、キマダラセセリ、イチモンジセセリ、ミヤマセセリ、ダイミョウセセリ、チャバネセセリ 小計6種

合計 55種

5 キアゲハ (ミツバ、セリ)
6 アオスジアゲハ (ヤブニッケイ)
7 ジャコウアゲハ (アリマノウマノスズクサ)

シロチョウ科

8 モンシロチョウ (コカブ、ハボタン)
9 キチョウ (ネムノキ)
10 スジグロシロチョウ (タネツケバナ)

タテハチョウ科

11 ルリタテハ (ホトギス、サルトリイバラ)
12 ツマグロヒョウモン (スマレ類、パンジー)
13 ウラギンスジヒョウモン(スマレ類)
14 イチモンジチョウ (ヒョウタンボク)
15 ホシミスジ (ユキヤナギ)
16 コムスジ (ハギ)
17 ミスジチョウ (カエデ類)

テングチョウ科

18 テングチョウ (エノキ)

ジャノメチョウ科

19 ヒメジャノメ (イネ科植物)

シジミチョウ科

20 コツバメ (アセビ)
21 ヤマトシジミ (カタバミ)
22 ルリシジミ (ハギ)
23 ムラサキシジミ (アラカシ)
24 ムラサキツバメ (マテバシイ)

セセリチョウ科

25 ダイミョウセセリ (ヤマノイモ)

(HIRAO EIJI 神戸市北区松が枝町3-4-4)

庭で発生を確認した蝶類 (1984~2007) の食樹、食草

<'07.9.23現在>

アゲハチョウ科

- 1 クロアゲハ (カラタチ、ユズ)
- 2 カラスアゲハ (アムールキハダ)
- 3 ナガサキアゲハ (ユズ)
- 4 アゲハ (カラタチ、サンショウ、カラスザンショウ)